

【第7回】肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

●議事概要

- ・実施日：平成29年12月26日(火) 13:30～15:00
- ・場 所：大洲市総合福祉センター 4階 多目的ホール
- ・出席者：大洲市長、伊予市長、西予市副市長、西予市消防本部消防長、砥部町長、内子町長、松山地方気象台長
愛媛県（南予地方局 八幡浜支局長、大洲土木事務所長、西予土木事務所長、中予地方局 建設部長、大洲警察署長、西予警察署警務課警備上席係長、伊予警察署警備課長、松山南警察署警備課長）
国土交通省四国地方整備局（大洲河川国道事務所長、山鳥坂ダム工事事務所長、野村ダム管理所長）
- ・事務局：大洲河川国道事務所、大洲土木事務所

●開催状況



●構成員の主な発言要旨

- ・想定最大規模降雨による洪水は、なかなか対応することが出来ないが、計画規模降雨を超えた洪水に対して堤防強化などで、またタイムラインについて洪水予測による水位に対して自分たちがどう行動するのか、どんな準備をするのが良いのか、幹事会等で検討していただきたい。（大洲市長）
- ・台風18号は中山川でかなりの降水量があった。今後ハザードマップ作成などが出来れば、被害軽減等ができるのではないかと。（伊予市長）
- ・台風18号では、時間38mmの雨量があり、西予市役所付近の河川が一時間で急激に水位が上昇した。九州のように時間100mmが何時間も降り続ける降雨が西予市でも発生すると考えると、とても不安になった。この協議会を通して、色々ご教示いただきたい。（西予市副市長）
- ・水害危険性の周知促進について、簡易的な方法も活用して河川水位等の情報を提供とある「簡易的な方法」について具体的な方法を確認し、今後検討を行いたい。（砥部町長）
- ・上流域の情報を迅速に入手して、下流へどういう方法で連絡するのが良いか、スピード感のある取組を考えたい。（内子町長）
- ・最近の気象庁の取組として、自治体の方を対象として気象庁が提供した情報の「よみとき」などの研修を実施している。構成員の市町でも実施させていただければ気象情報の理解・活用の促進になるので検討して欲しい。（松山地方気象台長）

●テレビ・新聞等への取材状況

- ・新聞：3社（朝日新聞、読売新聞、愛媛新聞）